



JPX 総研
情報配信システム接続仕様書
Snowflake

Version 1.0

2025 年 10 月 14 日

株式会社 JPX 総研

本ファイル仕様書は、2025 年 10 月 14 日から適用されます。

目次

1.本仕様書の目的	1
2.本システムの概要	1
2.1.利用前提.....	1
2.2.利用回線等	1
2.3.配信における責任範囲	1
2.4.プラットフォーム及びリージョン	1
2.5.設定情報.....	2
2.5.1.提供いただく情報	2
2.5.2.弊社提供情報.....	2
2.6.Viewについて	3
2.6.1.Viewの仕様について	3
2.6.2.Viewの利用制約について	3
3.提供データ	3
3.1.提供対象情報	3
3.2.提供サイクル・提供時間	3
4.障害時の運用	3
4.1.システム障害時	3
4.1.1.情報配信の遅延	3
4.1.2.情報の誤謬	4
4.1.3.Snowflake又はプラットフォームの障害	4
5.連絡先	4
6.改版履歴	5

1.本仕様書の目的

この仕様書は、株式会社 J P X 総研（以下「当社」といいます。）の情報提供サービスのうち、Snowflake 合同会社が提供するプラットフォーム（以下「Snowflake」といいます。）を通じたサービスをご利用いただけにあたり、ユーザーが、当社が Snowflake 上において運営する情報配信システム（以下「本システム」といいます。）との接続に必要な事項を定めるものです。

なお、各情報提供サービスで提供している情報における、提供サイクル・提供時間・ファイルフォーマット・収録項目の詳細等については、別途、情報提供サービスごとに用意しているデータ仕様書（データ説明書）等をご参照ください。

2.本システムの概要

Snowflake を通じた情報提供サービスでは、本システムからユーザー側の Snowflake アカウントに対し、Snowflake のデータシェアリング機能（Snowflake Secure Data Sharing¹）及び非実体化 View²を用いて情報配信を行います。

2.1.利用前提

当サービスを利用する際には、ユーザーにおいて Snowflake アカウントの取得が必要です。各ユーザーの責任にてご準備ください。

また、当サービスの使用にあたっては、ユーザーにおいて Snowflake に関する知識を有することを前提として提供を行います。なお、Snowflake におけるデータの利用に伴うユーザーのコストは、ユーザーと Snowflake 社との契約に基づき、ユーザーが支払うこととなっています。

2.2.利用回線等

本システムとユーザー側との接続には、インターネット又は該当するプラットフォームが提供するプライベート接続サービス（AWS Private Link、Azure Private Link 等）を利用します。接続方法に応じユーザーにて必要な通信手段をご用意願います。

2.3.配信における責任範囲

本システムにおける当社の責任範囲は、Snowflake において各ユーザーに対する View の作成及び作成した View への、更新データの反映までといたします。

2.4.プラットフォーム及びリージョン

当社では Snowflake の AWS・東京リージョンを本システムのプライマリサイトとして

¹ <https://docs.snowflake.com/ja/user-guide/data-sharing-intro>

² <https://docs.snowflake.com/ja/user-guide/views-introduction>

サービスを提供します。

各プラットフォーム等におけるデータ保管コスト等の観点から、他プラットフォーム・リージョンに対する対応は、情報提供サービスごとに判断・対応を行いますので、他プラットフォーム又はリージョンに対する配信を希望される場合の対応については、提供までに時間がかかる場合があります。また、他プラットフォーム又はリージョン対応については、Auto-fulfillment for listings³方式で提供することがあります。

2.5.設定情報

2.5.1.提供いただく情報

設定にあたり、ユーザーから弊社へ提供いただく情報は下記です。

項目
ユーザー接続先アカウント識別子(Data Sharing Account Identifier)
ユーザー環境（本番環境か非本番環境か）
ユーザー側プラットフォーム及びリージョン*1

*1: AWS・東京リージョン以外のプラットフォーム・リージョンを希望する場合。

2.5.2.弊社からの提供情報

利用ユーザーからの接続に必要な、以下の項目については、当社にて特定後、該当利用ユーザーにお知らせします。

項目
JPX 側アカウント識別子
JPX 側環境 ⁴
データベース名
スキーマ名
提供する View 名

³ <https://other-docs.snowflake.com/ja/collaboration/provider-listings-auto-fulfillment#set-up-auto-fulfillment>

⁴ 原則本番環境を想定していますが、ユーザーにおけるテスト・トライアル目的で、当社の非本番環境からの提供となる場合のみ、その旨を明記してお伝えします。

2.6. Viewについて

2.6.1. Viewの仕様について

提供する View は、原則ユーザー・データごとに作成いたします。(例外的対応を行う場合には個別にご連絡します。)

2.6.2. Viewの利用制約について

Snowflakeにおいては、ユーザーにおける各 View を通じたデータ検索、参照、取得等について、権限の有無による制限を除き特段の条件制約（セーフティネット）を設けることができません。そのため、各 View をご利用の際に日付等の項目による条件を設定のうえデータ検索、参照、取得等を行わないと、ユーザー側において大量データの処理が発生してしまう可能性がありますのでご注意ください。

3. 提供データ

3.1. 提供対象情報

本システムを通じて提供する情報については、情報提供サービスごとのデータ仕様書等をご参照ください。

3.2. 提供サイクル・提供時間

(1) 本システムの稼働時間

本システムの稼働時間は 24 時間 365 日となります。

ただし、非営業日にはデータの更新は行われません。また、当社にてメンテナンスを行う際、ユーザーに通知後、サービス停止を行うことがあります。

(2) View 更新時刻・期間

View の更新時刻については、提供ファイルごとに異なります。TOPIX 基礎情報については、「最終更新制御 View」を参照いただき、更新有無を確認することができます。

各データの参照可能期間については、サービス及び契約により異なります。

4. 障害時の運用

4.1. システム障害時

本システムの障害の際には、障害の内容の別に応じ、以下のように運用します。

4.1.1. 情報配信の遅延

情報配信の遅延については、その見込みが分かった時点で、その旨を電子メールでご連

絡します。

情報配信が行われた旨又はその見込みについて、再度電子メールでご連絡しますので、当該配信後、View の確認をお願いします。

4.1.2.情報の誤謬

提供情報に誤りがあった場合、その旨と真正情報をメールでご連絡します。その後、Snowflake 上のデータについて真正情報への訂正を行った場合には、再度ご連絡しますので、再確認をお願いします。また、システムの都合により真正情報を収録した View が再作成できない場合にはその旨を連絡します。

4.1.3.Snowflake 又はプラットフォームの障害

Snowflake 障害時並びに AWS 障害時はサービスが正常に提供できない可能性がございます。また、ユーザーが希望したプラットフォームで障害が起きた際もサービスが正常に提供できない可能性がございます。Snowflake または Snowflake のプラットフォームの障害時には、当社は任意でその旨の通知を行いますが、原則各ユーザーにて以下のサイト等を通じ、障害、復旧、その他状況更新等の情報収集をお願いいたします。

- ・Snowflake 障害 : <https://status.snowflake.com>
- ・AWS 障害 : <https://health.aws.amazon.com/health/status>

5.連絡先

当仕様書、システム仕様・運用、障害に関するお問合せ

(株)JPX 総研 クライアントサービス部

電話:050-3377-7831

E-mail : tminfo@jpx.co.jp

※お問合せの際に、Snowflake 経由の配信である旨をお伝えください

※Snowflake そのもののご使用に係る問い合わせにつきましては、Snowflake サポート等 Snowflake 社へお問合せください。

6. 改版履歴

日付	バージョン	内容
2025年10月14日	1.0	初版

以上